

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公表番号】特表2008-503716(P2008-503716A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-516078(P2007-516078)

【国際特許分類】

G 0 1 N 30/88 (2006.01)

G 0 1 N 30/74 (2006.01)

G 0 1 N 30/86 (2006.01)

A 6 1 K 39/095 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 30/88 N

G 0 1 N 30/88 P

G 0 1 N 30/74 Z

G 0 1 N 30/88 E

G 0 1 N 30/88 J

G 0 1 N 30/86 J

A 6 1 K 39/095

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月26日(2008.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血清型 A の N . m e n i n g i t i d i s 由来の莢膜糖の結合体を含む組成物であって、
該結合体の分子サイズが $57.1 \pm 20\%$ であり、そして / または
該結合体の分子量が $88.5 \text{ kDa} \pm 20\%$ である、
組成物。

【請求項 2】

血清型 C の N . m e n i n g i t i d i s 由来の莢膜糖の結合体を含む組成物であって、
該結合体の分子サイズが $57.0 \pm 20\%$ であり、そして / または
該結合体の分子量が $85.2 \text{ kDa} \pm 20\%$ である、
組成物。

【請求項 3】

血清型 W 1 3 5 の N . m e n i n g i t i d i s 由来の莢膜糖の結合体を含む組成物であ
って、
該結合体の分子サイズが $68.7 \pm 20\%$ であり、そして / または
該結合体の分子量が $110.1 \text{ kDa} \pm 20\%$ である、
組成物。

【請求項 4】

血清型 Y の N . m e n i n g i t i d i s 由来の莢膜糖の結合体を含む組成物であって、

該結合体の分子サイズが $63.3 \pm 20\%$ であり、そして / または
該結合体の分子量が $84.7 \text{ kDa} \pm 20\%$ である、
組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 に記載される結合体のうちの 2 つ以上を含む、組成物。

【請求項 6】

2 つのバッチのワクチンであって、ここで：

(a) 両方のバッチのワクチンは：

(i) 血清型 A の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(ii) 血清型 C の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(iii) 血清型 W 135 の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(iv) 血清型 Y の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

を含み；

(b) 第一バッチの血清型 A の糖の分子サイズが A 1 であり、第二バッチの血清型 A の糖の分子サイズが A 2 であり；

(c) 該第一バッチの血清型 C の糖の分子サイズが C 1 であり、該第二バッチの血清型 C の糖は分子サイズが C 2 であり；

(d) 該第一バッチの血清型 W 135 の糖の分子サイズが W 1 であり、該第二バッチの血清型 W 135 の糖は分子サイズが W 2 であり；

(e) 該第一バッチの血清型 Y の糖の分子サイズが Y 1 であり、該第二バッチの血清型 Y の糖は分子サイズが Y 2 であり；

(f) A 1 / A 2 の比率、C 1 / C 2 の比率、W 1 / W 2 の比率、および Y 1 / Y 1 の比率が各々、0.90 ~ 1.10 の間である、
ワクチン。

【請求項 7】

2 つのバッチのワクチンであって、ここで：

(a) 両方のバッチのワクチンは：

(i) 血清型 A の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(ii) 血清型 C の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(iii) 血清型 W 135 の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

(iv) 血清型 Y の *Neisseria meningitidis* 由来の莢膜糖の結合体；

を含み；

(b) 第一バッチの血清型 A の糖の分子量が A 1 であり、第二バッチの血清型 A の糖の分子量が A 2 であり；

(c) 該第一バッチの血清型 C の糖の分子量が C 1 であり、該第二バッチの血清型 C の糖の分子量が C 2 であり；

(d) 該第一バッチの血清型 W 135 の糖の分子量が W 1 であり、該第二バッチの血清型 W 135 の糖の分子量が W 2 であり；

(e) 該第一バッチの血清型 Y の糖の分子量が Y 1 であり、該第二バッチの血清型 Y の糖の分子量が Y 2 であり；

(f) A 1 / A 2 の比率、C 1 / C 2 の比率、W 1 / W 2 の比率、および Y 1 / Y 1 の比率が各々、0.90 ~ 1.10 の間である、

ワクチン。